【授業科目】精神看護学特論Ⅱ（精神保健）　Advanced Mental Health and Psychiatric Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大西 信行	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	精神医療福祉の歴史的変遷をふまえ、精神保健福祉制度や体制の理解を深め、現状をふまえながら、精神保健・福祉における施策や課題について検討する。現代の精神看護・医療・福祉におけるアプローチの実際についても専門的な知識を学ぶ。また個人・家族・集団に効果的な支援を探求するとともに、対象の人権を擁護するための倫理的判断能力を養う。授業は実務家教員（大西）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／討議、プレゼンテーションを通してピアおよび教員からコメントを行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1. 精神医療福祉の歴史、法制度の変遷を学び、日本の現状とその課題について展望し述べることができる。 2. 現在の日本における精神保健福祉制度をクリティカルな視点から把握し、看護職が果たすべき役割について検討することができる。 3. 精神看護・医療・福祉におけるアプローチを理解し活用できる。 4. 個人・家族・集団に効果的な支援を探求するとともに、対象の人権を擁護するための倫理的判断能力を養う。
時間外学習に 必要な 内容・時間	講義前に指定された、資料や文献に目を通しておくこと（各１時間）。 講義後は学んだ内容と臨床現場での事例を対応させて考えまとめる（各２時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1.～5. 精神保健及び精神医療福祉に関する歴史的変遷と現状 ・ 精神保健福祉制度や体制の理解を深め、現状をふまえながら、精神保健福祉における施策や課題について検討し、看護職の役割について考える。 ・ 当事者としての立場からの、現在の精神保健医療福祉における問題を知り、今後の方策について検討する。 （プレゼンテーション） 6.～10. 看護・医療・福祉におけるアプローチ 精神看護・医療・福祉を念頭においたメンタルヘルスとそのケア ・ 精神科領域における治療的アプローチと看護 精神症状の査定と精神症状の捉え方 ・ 精神科リハビリテーション ・ 当事者論　リカバリーモデル・ストレングスモデル ・ 他職種連携、地域連携、地域資源の活用について 職場風土 ストレス対処等 （プレゼンテーション） 11. リスクマネージメント 12.～13. 看護における倫理 ・ 精神保健医療サービスユーザーの権利 ・ 人権擁護 ・ 倫理的判断能力、意思決定能力 ・ 倫理的課題 14.～15. 各自の課題に沿って、プレゼンテーションをし、ディスカッションを行い、保健や精神保健福祉における施策や課題について検討する。	全て 大西
評価方法 評価基準	授業参加態度、プレゼンテーション、レポートなどを合わせて総合的に評価する。
教科書	なし
参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。